



おかやま

学校だより

平成30年 9月28日

三笠市立岡山小学校

発行責任者 阿部博昭

平成30年度の全国学力・学習状況調査から

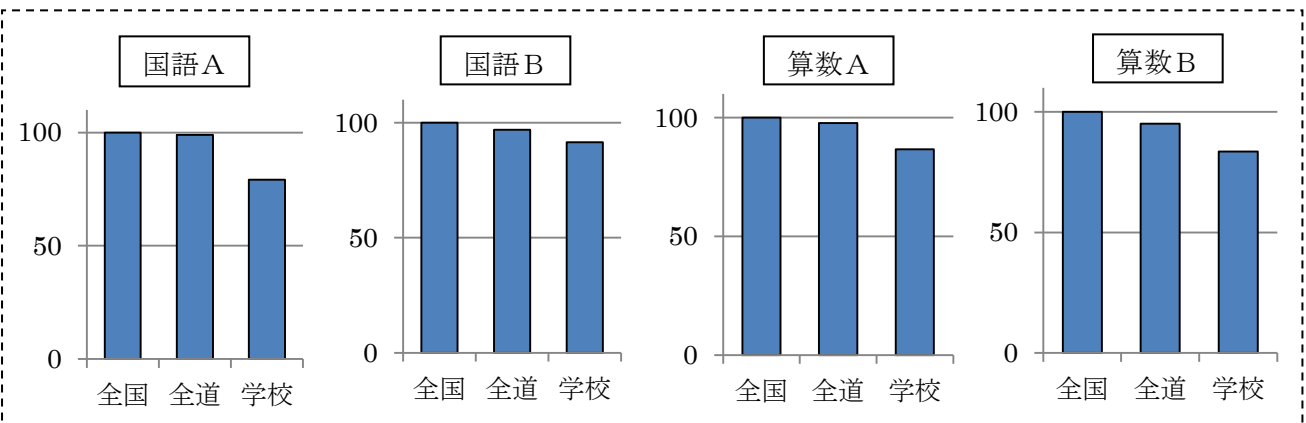
4月17日（火）に全国の小学校6年生を対象として実施されました「全国学力・学習状況調査」の結果が文部科学省から公表されました。全国や全道の結果については報道機関を通じ公表されましたのでご存じのことと思います。

そこで、本校の6年生の結果の概略をお知らせいたします。

教科に関する調査は、国語・算数・理科の2教科の実施です。主として「知識」に関するA問題と、主として「活用」に関するB問題に分けて実施しています。（理科は、AとBに分かれていません）

また、学力調査と合わせて学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査を実施しております。

結果については、子どもたちの学力を伸ばしていくための客観的な資料として生かし、現在の指導に役立てています。



上のグラフは、全国の平均を100とした時の全道と本校の平均を表したものです。100を超えている場合、結果が全国平均以上であることを表しています。

【国語Aについて】

◎「話すこと・聞くこと」「読むこと」領域の正答率が全国平均よりも高いです。

▲「書くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の領域の正答率が低く、復習が必要です。

▲主語と述語との関係などに注意して書くことに課題があります。

▲時間内に最後の問題まで到達しなかった子が多いです。

※読んだり、書いたりする速さを向上させるとともに、文法や漢字等の基礎・基本の定着を図ります。

【算数Aについて】

◎「数と計算」「量と測定」領域の正答率が全国平均よりも高いです。

▲「図形」「量と測定」領域の正答率が低く復習が必要です。

▲「百分率」や「円周率を求める式の立式」に課題があります。

▲時間内に最後の問題まで到達しなかった子が多いです。

※既習事項を振り返る場面をつくり、基礎・基本の定着を図ります。

※計算力の向上を図ります。

【国語Bについて】

◎国語Aよりも全国平均との差が小さいです。

◎「話すこと・聞くこと」領域の正答率が高いです。

▲目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして、詳しく書いたり、目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながらか読んだりすることに課題がありました。

▲回答を記述する問題の正答率が低い傾向です。

※考えの根拠を明確にし、友達にわかりやすく発表したり書いたりする場面を大切にします。

【算数Bについて】

◎「図形」領域の正答率が全国平均よりも高いです。

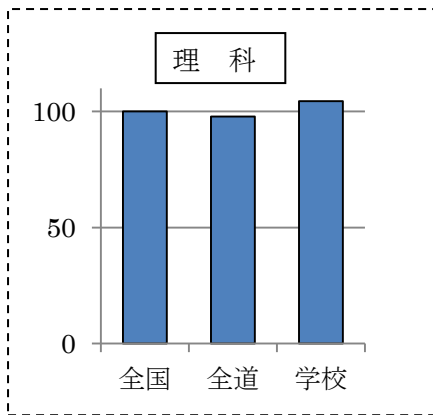
◎「量と測定」「数量関係」領域の正答率が全道の正答率よりも高いです。

◎数量や図形についての知識・理解の正答率が全国よりも高いです。

▲「数学的な考え方」が必要な問題に課題があります。

▲判断の理由や解決の方法を説明することに課題があります。

※解決方法や理由を話したり書いたりする場面を大切にします。



【理科について】

- ◎本校の理科の平均正答率が、全国の平均正答率を上回っています。
- ◎「科学的な思考・表現」や「観察・実感の技能」の正答率が全国の正答率を上回っています。
- ◎児童全員が実験・観察が好きと回答しています。
- ▲「知識」に関する問題よりも「活用」に関する問題の正答率が高い状況でしたが、「関節」の用語やモーターの逆回転の方法、質量保存の法則など、大切なことを忘れていた児童が多い結果でした。
- ▲回答を記述する問題の正答率が低い結果でした。

※実験や観察を大切に、結果から導き出す結論への思考過程や考察を大切に授業を構築していきます。

【児童質問紙調査結果の概要】

◎全国平均とほぼ同じ及び全国平均以上にある項目

項 目	
生活面に関して	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。
	朝食を毎日食べている。
	家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をする。
	今住んでいる地域の行事に参加している。
	地域や社会で起こっている問題や出来事に興味がある。
	テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見る。
学習面に関して	家で、自分で計画を立てて勉強をしている
	算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役立つと思う。
	算数の勉強は大切だと思う
	理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役立つと思う。
	観察や実験を行うことは好きである。

◎全国平均と比較して改善が必要と思われる項目

項 目	
学習面に関して	家で学校の宿題をしている。
	家で、学校の授業の予習・復習をしている。
	算数の勉強は好きである。

【考察】～ 上記の結果は、4月17日時点のものです。現在のものではありません。

また、岡山小学校の児童に対しては、国語に関する設問がありませんでした。

「家で、自分で計画を立てて勉強している」に関して全国よりも高い割合で肯定した回答でしたが、『家で学校の宿題をしている』『家で、学校の授業の予習・復習をしている』項目での回答は、全国よりも低い結果でした。子どもたちは、学習をやらなくてはいけないと考え、取り組むことへの計画を立てますが、取り組む段階で他の楽しいことに心を奪われたり、やる気が起こらなかつたりしているのではないかと考えています。

子どもたちに確かな学力を身に付けさせるには、“継続は力なり”と言われているように学習の積み重ねが大切です。学校では、学習に対して「頑張ろう」「面白い」「もっと知りたい」などの気持ちを持たせるよう一層の授業充実を図っていきますので、家庭での学習習慣確立に向け、ご協力をよろしくお願いいたします。